

1 家庭系可燃ごみの組成

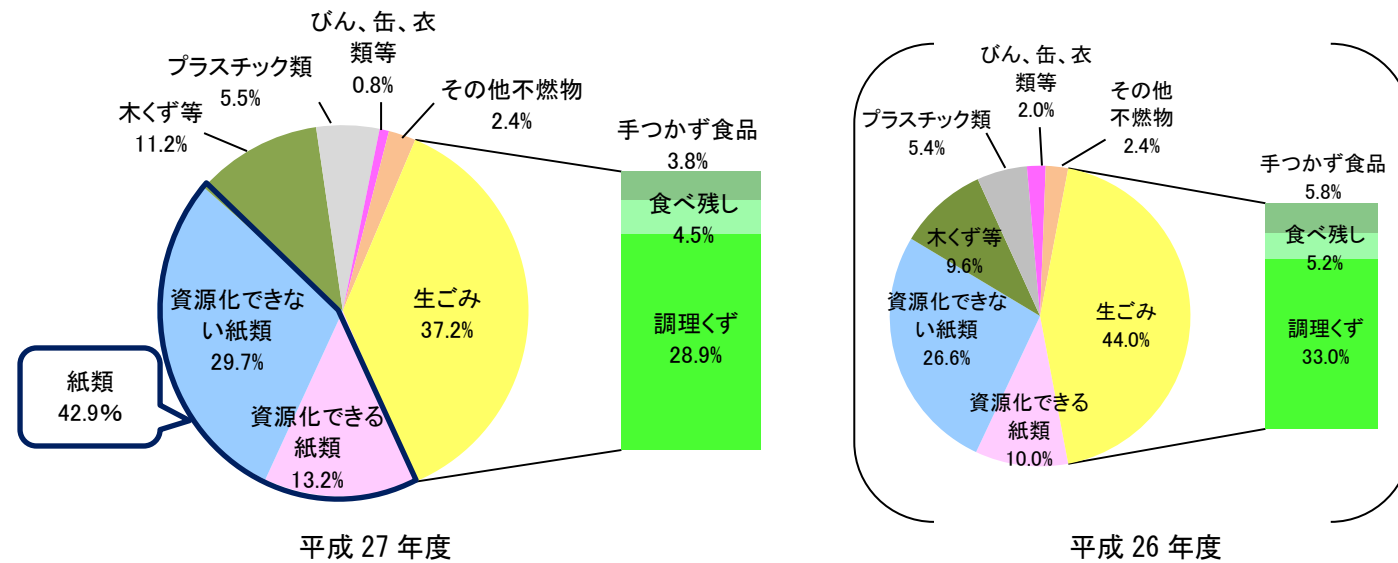
(1) 調査概要

平成 27 年 10 月 2 日に中工場、6 日に安佐南工場に搬入されたごみ（2 か所の焼却施設で、それぞれ 2 台の収集車両から約 100 kg ずつ、合計約 400 kg）の組成分析を実施。

(2) 調査結果

平成 27 年度の家庭系可燃ごみの組成を見ると、紙類が約 43%、生ごみが約 37%で、この 2 種類で約 8 割を占めている。このうち、紙類については、約 13%が資源化できる紙類であり、その内訳としては日用品（食品、化粧品等）の外箱やパンフレット類などであった。生ごみについては、調理くずが約 29%、食べ残しが約 5%、手つかず食品が約 4%となっている。

【家庭系可燃ごみの組成】



2 事業系可燃ごみの組成

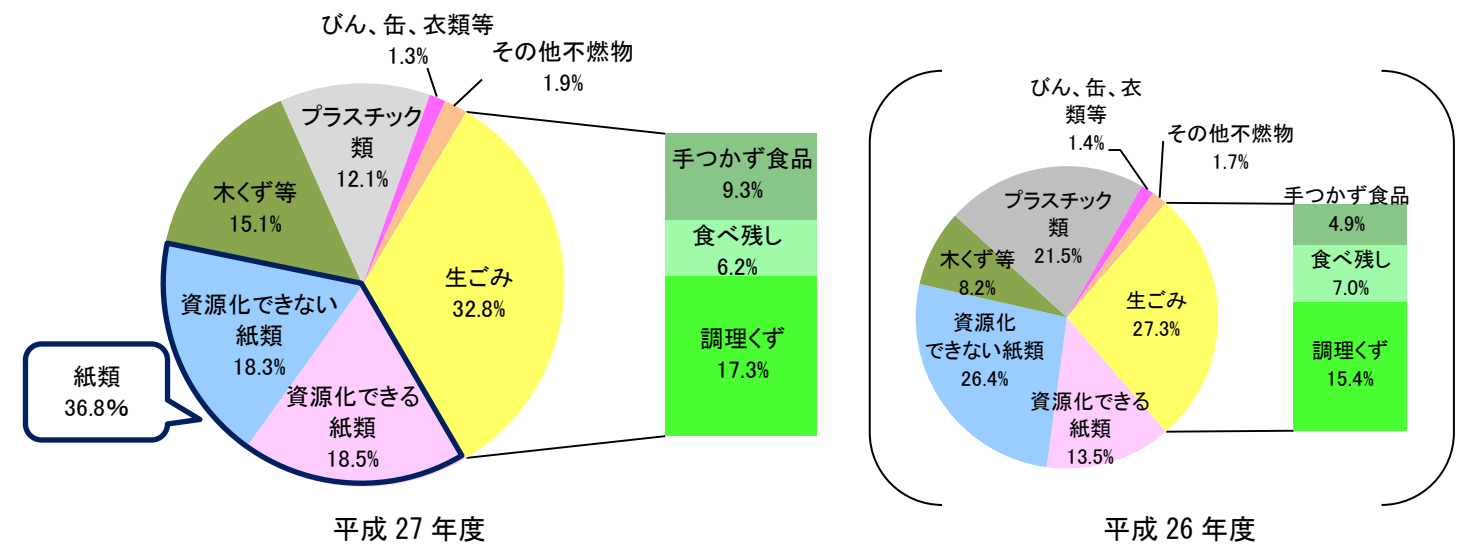
(1) 調査概要

平成 27 年 10 月 6 日に南工場、7 日に安佐南工場に搬入された事業系可燃ごみ（2 か所の焼却施設で、それぞれ 4 台の収集車両から約 50 kg ずつ、合計約 400 kg）の組成分析を実施。

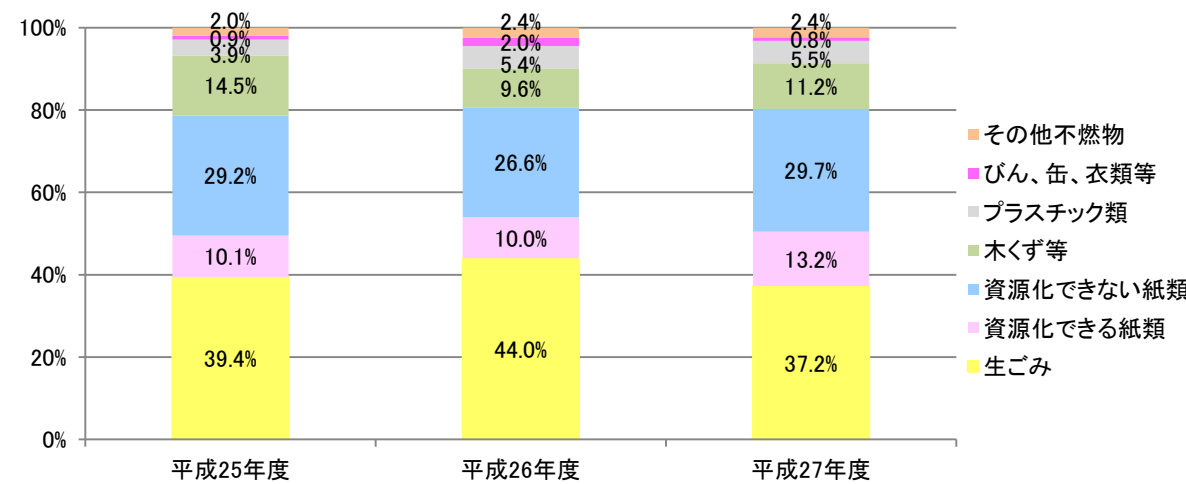
(2) 調査結果

平成 27 年度の事業系可燃ごみの組成を見ると、紙類が約 37%、生ごみが約 33%で、この 2 種類で約 7 割を占めている。このうち、紙類については、約 19%が資源化できる紙類であり、その内訳としては、製品（小型）の外箱、印刷された OA 紙の包装紙、印刷された OA 紙（内部資料）、パンフレット類などであった。生ごみについては、調理くずが約 17%、手つかず食品が約 9%、食べ残しが約 6%となっている。

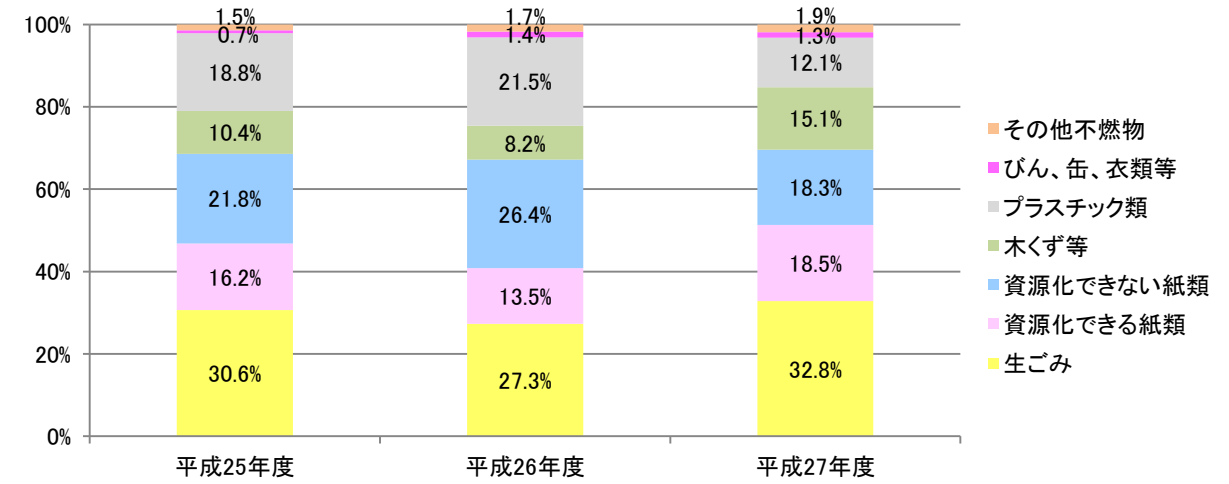
【事業系可燃ごみの組成】



【年度別調査結果（平成 25 年度から平成 27 年度まで）】



【年度別調査結果（平成 25 年度から平成 27 年度まで）】



【資源化できる紙類の内訳】（単位：%）

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
			主な中身	割合 (%)
新聞・広告紙	2.0	3.2	1.6	広告紙
ダンボール	0.1	0.2	0.7	中型～小型のダンボール箱
書籍類・雑誌類	1.6	1.2	2.3	パンフレット類
紙箱	2.1	2.5	3.3	日用品（食品、化粧品等）の外箱
紙袋・包装紙	0.6	0.8	0.9	買物袋
OA紙	0.5	0.6	1.1	取扱説明書等の書類
はがき、封筒、メモ類	0.7	0.7	1.1	封筒、メモ類
名刺大以上の紙片	2.5	0.8	2.2	破かれた紙箱、広告紙
計	10.1	10.0	13.2	—

【資源化できる紙類の内訳】（単位：%）

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	
			主な中身	割合 (%)
新聞・広告紙	2.2	2.2	0.8	広告紙
ダンボール	0.9	1.4	1.2	中型～小型のダンボール箱
書籍類・雑誌類	1.6	0.6	2.1	パンフレット類
紙箱	2.4	3.2	4.8	製品（小型）の外箱
紙袋・包装紙	1.6	1.3	3.3	OA紙の包装紙
OA紙	4.1	1.7	2.6	印刷されたOA紙（内部資料）
はがき、封筒、メモ類	0.7	1.6	1.6	封筒
名刺大以上の紙片	2.7	1.5	2.1	破かれたOA紙
計	16.2	13.5	18.5	—